

1 本校の教育について

1-1 本校の概要

- 1 所在地 市川市大野町2丁目1877番
電話 047(337)8141
- 2 創立 明治6年2月(創立152年目)
- 3 学級数 (令和6年度)
普通学級21
特別支援学級(なかよし学級)4
児童数:674名 (令和6年5月現在)



4 学区

南大野2丁目28～30番、南大野3丁目
大野町2～3丁目、大野町4丁目2154～2524番地、2595～2601番地、
2606～2762番地、2765～2767番地、2790～3238番地
柏井町3丁目105～174番地
大町368～369番地、382～408番地、477～491番地、511～544番地

1-2 『なかよし学級』って？

大柏小学校に設置されている知的障害を持つ児童の特別支援学級です。

個々の課題に応じてグループに分かれて、ゆっくり勉強しています。落ち着いた中で一人ひとりに合わせたペースで勉強を進めています。

うまくお話しできなかったり、うまく体を動かしたりできないこともあるけれど、みんなと同じように一生懸命勉強しています。

苦手なこともあるけれど、得意なこともたくさんあります。お絵かき、歌、ダンス、人の名前を覚えたり、スケジュールを覚えたりすることなど。一人一人の素敵なところを見てください。

恥ずかしがり屋だったり、自分の気持ちをうまく伝えられなかったりするけれど、みんなが声をかけてくれるとうれしいし、一緒に遊びたいと思っています。

いろいろな学年の子どもがいます。今年、1年生6人、2年生5人、3年生4人、4年生6人、5年生6人、6年生3人です。4クラスあります。運動会や校外学習などは、交流学級の一員として参加しています。



**学習や活動を通してゆっくり成長していきます。
元気いっぱい！遊ぶの大好き！どの子どもみんなと同じです。**

令和7年度 市川市立大柏小学校 経営方針



学校教育目標

心豊かな子どもの育成

目指す児童像

- ・自他を認め合い、思いやりと社会性のある子
- ・自ら学び、考え、行動する創造性豊かな子
- ・自ら学習や体力づくりに取り組もうとする意欲と実践力をもった子

目指す学校像

「**こころ**」人と関わって生きる喜びや厳しさを知らせ

支え合って生きる力を養う学校

「**みどり**」身近な自然や生命環境、地域の人の触れ合い、関わり合いを通して

体験的に問題解決の力をつける学校

「**ちから**」基礎的・基本的な学力の習得とたくましい体力をつけ

生涯学習の基礎を培う学校

目指す教職員像

- ・常に「子どもにとってより良いこと」を第一に考え、相手の話を傾聴し行動できる教職員
- ・互いの良さを認め合い、仲間とともに励む教職員
- ・魅力ある授業の実現のために自らの資質向上に努める教職員

学校教育目標の実現のために、「豊かな心」、「確かな学力」、「健やかな体」のバランスの良い育成を目指した教育活動を展開します。



学校の教育活動をより効果的に進めるためには、児童・保護者・地域との信頼関係の構築が必要です。



目指す児童像
目指す学校像



大柏小 150 周年イメージキャラクター
カシワ イゴマルくん

幼・保、小、中で、目指す児童・生徒像を共有し、連携して教育活動を進めることで、継続した子どもたちの学びの支援を進めます。



学校における働き方改革の推進

これまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動ができるようにする。

・業務の効率化「ムリ、ムラ、ムダの排除」

- ⇒子供たちと向き合う時間の確保
- ⇒自分自身と向き合う時間の確保
- ⇒授業準備のための時間の確保

すべては子どもたちのために

チーム大柏小として ～横(学年間、教科間)と縦(時間)をつなぐ

誰一人欠かせない教職員集団で
互いに支え合い
学校 学級、学年、立場を超えて
全校児童を全教職員で育み
大柏小の教職員であることを誇りに思える
教育活動を進める。

重点目標

「魅力ある授業の実現」

重点的取組

- 1主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - －1探究的な学びの推進
 - －2言語能力の育成
(読書活動の充実、図書資料活用の推進等)
 - －3児童の学習用端末の活用推進
- 2児童生徒の体力の向上
- 3多様な教育的ニーズに対する学びの推進

魅力ある授業を展開することにより、児童の達成感・満足感・自己肯定感が保障される。また、教師の良好な信頼関係を築くことができる。さらに、児童の学力向上教師の授業力向上にもつながる。

その実現のために

- (1)結果も大事だが過程も大切にする。
- (2)減点的でなく加点的な見方で評価する。
- (3)指示や命令中心の指導でなく、自己決定に導く。
- (4)児童に考えさせることを大切にする。
- (5)自らの生き方を考え、行動していく力を育てる。
- (6)相手の意見を尊重する姿勢を育てる。

五中ブロック「めざす六つの子どもの姿」

- 1自分からあいさつができる子
- 2時間を自分で守れる子
- 3自分で考えて掃除をする子
- 4自分から進んで授業に臨む子
- 5自分の考えをもって話し合える子
- 6自分で決めて家庭学習を進められる子

「考動」

2025-2026 スローガン

「Just do it! (まずやってみよう!)」